

## これから社会に羽ばたく 若きアーティストたちのために

2012年から東京藝術大学と提携して、  
若手演奏家を応援している「アーティストサポートプログラム」。  
この秋には、記念すべき「10周年スペシャルコンサート」が開催予定。  
コンサートにご出演予定の山下裕賀さん、山本耕平さん、  
二人の若き声楽家にその期待値を伺った。



10周年スペシャルコンサートへの思いを語る山下さんと山本さん。中央はコンサートをナビゲートする音楽プロデューサーの坂田康太郎さん。

### 羽ばたく若手に エールを

【音楽家編】第5回

Hiroka YAMASHITA &  
Kohei YAMAMOTO

Photograph by Tadahiko NAGATA  
Text by Hisae ODASHIMA

2012年にスタートしたダイナースクラブの「アーティストサポートプログラム」が、今年10周年を迎える。才能ある若手音楽家に上質な演奏の機会を与える目的で始まり、東京藝術大学の学生が、ふだん音楽に触れる機会のない方々へ音楽を届ける「音楽アウトリーチ」活動を、ダイナースクラブリワードポイントで応援する「ダイナースクラブアーティストサポートファンド」につながった。その活動を記念して、毎年10月に行われ

る記念コンサートに出演予定のテノール歌手の山本耕平さん、メゾ・ソプラノ歌手の山下裕賀さん、初回からこのプロジェクトに関わる音楽プロデューサーの坂田康太郎さんに、これまでの歩みと10周年コンサートへの抱負を伺った。

#### 若手に檜舞台を 踏んでほしいという願い

坂田康太郎 若手のアーティストにサントリーホールのような檜舞台を踏んでも

山本耕平 僕は、ダイナースクラブの銀座プレミアムラウンジでのサロンコンサートの第1回目に出演させていただきました。最初の回で、ピアノの置き方もどうしようか、という感じで……。規模的にもその後発展していくんですけど、「こういう理念でスタートするから君たちやってくれ」とお声がけいただいて、手探りでやったのを覚えています。

山下裕賀 私は6周年のサントリーホール（ブルーローズ）のスペシャルコンサートに出させていただいたのですが、お客様が真剣にクラシック音楽に関心をもってくださっているんだなという雰囲気を感じたのをよく覚えています。今回、こういった記念の回に参加させてい

ただくのは「ただいま」という感じがあります。

坂田 初めの頃は、本当に手探りの状態だったと思うんです。ダイナースクラブの銀座ラウンジって、エレベーターが小さくてピアノが入らなくて、グランドピアノの一番小さいやつでも、足を取っても入らないんですよ。そこでピアノの共演はやむなく電子ピアノという形になったんですね。でもピアノの前田さんは嫌な顔ひとつしないで弾いてくださって、音楽性も素晴らしい。負担もかけてしまったけど、その後も山本君とは縁があり、大きなコンサートをいっぱいやってくれた。

#### クラシック好きのお客様とともに手を携えて

山本 コンサートをやると、「シグネチャー」に掲載されますよね。自分の故郷だけでなく、ほかの地方の方からも連絡をいただけて、「お前の活動ステージ、上がってるね」と言われたのがうれしかった。

山下 私は何より、ブルーローズで歌えるというのがうれしくて、ものすごく気合を入れて臨みました。大きなホールで同世代の人たちとやるということが刺激的で、共演者の方たちとの縁もそこからできていったんです。

### テノール 山本耕平

やまもと こうへい | 鳥取県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業後、ミラノ・ヴェルディ音楽院留学を経て、東京藝術大学大学院に復学、首席で修了。その後もイタリアで研鑽を積む。オペラでは『椿姫』『こうもり』『ドン・カルロ』『リゴレット』『金閣寺』『ラ・ボエーム』などで大役を務める。コンサートでも『第九』などで高い評価を得ている。東京二期会会員。https://yamamotokohei.jp



「命懸け」の二重唱が多い。先日、オペラ『カプレーティとモンテッキ』でそれぞれ敵役を演じたので、決闘のシーンもいかなど考えているんです(笑)。  
山下 本場に平穏なデュエットがないんですよね。嫉妬とか決闘とか、呪いがある(笑)。曲はこれから決めていきますが、今からワクワクしています。

### メゾ・ソプラノ 山下裕賀

やました ひろか | 京都府出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。大学院アカンサス音楽賞受賞。第21回コンセル・マロニエ21第1位。オペラでは日生劇場の『カプレーティとモンテッキ』ロメオ役、『セビリアの理髪師』ロジーナ役などで高い評価を得る。日本声楽アカデミー会員。  
http://www.jvf.gr.jp/0/yamashita-hiroka.html

山下 私は何より、ブルーローズで歌えるというのがうれしくて、ものすごく気合を入れて臨みました。大きなホールで同世代の人たちとやるということが刺激的で、共演者の方たちとの縁もそこからできていったんです。

坂田 このプロジェクトには、アーティストを支援する意識を共有する意図もあって、ダイナースクラブのポイントで、東京藝術大学の学生が行う活動を支援できるようになっています。支援という無形のものポイントを交換して、ノブレス・オブリージュの精神じゃないですけど、寄付も募っている。学生の演奏を聴く機会を設けているのは、この子たちを応援してください、追いかけてください、という思いからです。会員の方々は1年間の活動を必ず報告をしています。

——10周年コンサートのプランを教えてください。

坂田 第1部が器楽で、2部がちよっと不思議で、口笛と三味線と尺八とウクレレ。声楽のお二人、山下さんと山本君には第3部に出演していただきます。私は、舞台監督から司会進行、当日の受付まで担当します(笑)。

山本 僕は一曲デュエットをやるかと考えているのですが、メゾとテノールは

#### ダイナースクラブ アーティストサポート プログラム 10周年スペシャルコンサート

山下裕賀さん、山本耕平さんが出演する「10周年スペシャルコンサート」が、2022年10月21日(金)、サントリーホールブルーローズ(小ホール)で開催されます。ご期待ください!詳細は本誌112ページをご確認ください。

#### 演奏動画をYouTubeで公開中

東京藝術大学音楽学部と協力し、学生、卒業生たちの演奏動画をYouTubeに公開中。動画は銀座プレミアムラウンジでの協奏や音楽アウトリーチ活動など全7篇。ダイナースクラブ公式YouTubeチャンネルでご覧ください。

